

農業大学の近況

副校長 金原 節子

一 概況

平成二十五年度(四月一日現在)の本校の学生数は、教育部農学科(以下農学科と記す)が百五十三名、教育部研究科(以下研究科と記す)が二十二名、総数は百七十五名です。うち女子は三十二名で十八%を占め、昨年度より若干少なくなっています。

専攻別学生数は、左の表のとおりです。農学科では、専攻間で十二名から三十一名と幅がありますが、野菜の二専攻と果樹を希望する学生が多い傾向にあるためです。

一方、研究科の専攻については、昨年に引き続き、畜産専攻の学生はなく、園芸農産専攻のみとなりました。

Table with columns: 学科・専攻, 1年生, 2年生, 計. Rows include 鉢物・緑花木, 切花, 作物, 果樹, 露地野菜, 施設野菜, 酪農, 養豚・養鶏, 園芸農産, 畜産, 合計.

農学科の入学人数は、八十六

農学科卒業生進路状況

Table with columns: 就農, 就職, 進学, その他・未定, 計. Rows include 後継者, 農業法人, 一時就職後就農, 研修, 進学, 計.

最近、非農家出身の学

その多くが本校の農学科から進学した学生です。三 進路状況 昨年の農学科卒業生の進路は、左表のとおりです。後継者として即就農、農業法人、一時就職後就農者を合わせると四十六名となり、五割強の学生が就農しています。また、農業法人への就職が多いことが特徴であり、昨年から始まった国の青年就農給付金の影響があると思われま

名で、最近五年間の平均入学人数の八十一名と比較するとやや多いといえます。そのうち、農業高校出身者は四十二名で、全体の約五割を占めています。また、専業農家の出身者は二十三名、二十七割であり、非農家の出身の学生は六十割を占める状況にあります。



真剣に行うクラメンの鉢上げ実習

生が多いこともあって、農業法人への就職によって、就農の夢を叶えております。本校では、職業安定法に基づく「無料職業紹介事業」を実施するなど、その支援に努めています。経済情勢等から厳しい状況にありま

生が多いこともあって、農業法人への就職によって、就農の夢を叶えております。本校では、職業安定法に基づく「無料職業紹介事業」を実施するなど、その支援に努めています。経済情勢等から厳しい状況にありま

切り花栽培に初めて関わる学生が多いため、当初は花の名前も分からない状態ですが、二年間濃密に携わることで、全員が花に関する必要な知識や技術を身につけます。



輪ギクの生育調査

二年生は、八月に入るとプロジェクト学習が佳境を迎え、自習時間外にも黙々と調査をしている姿が見られます。



1年生も上手に麦収穫ができます

一年生は水稲栽培に関するひと通りの基本知識を身につけられる内容で実習を進めています。また、各学生には場を割り当て、学生が責任をもって作業や栽培管理、生育調査等を行う体制をとっています。一年生の終盤からプロジェクト学習の取り組みが始まり、二年生は卒業論文としてまとめています。プロジェクトのテーマは不耕起V溝水稲直播栽培の除草剤削減、水稲の無農薬・無化学肥料栽培、

技術であるヒートポンプやLEDランンプを施設に導入し、品質向上やコスト低減、省力化など課題は様々です。